

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		仁淀川下流衛生事務組合負担金			
所管部局	環境部	部局長名	黒田 直稔	予算事業名	仁淀川下流衛生事務組合負担金
所管部署	春野環境センター	所属長名	笠原 隆彦	予算事業科目(平成25年度)	010403020320

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	01	共生の環	施策取組方針	廃棄物の適正な処理を推進するために、排出事業者及び廃棄物処理業者に対して廃棄物処理法の遵守を徹底するとともに、不適正処理に対する指導・取締りをさらに強化します。併せて、パトロールをはじめとする監視体制を充実強化するなど、不法投棄の根絶をめざします。 また、一般廃棄物の収集処理体制及び処理施設の充実に取り組みます。	
政策	06	環境負荷の少ない循環型社会の形成			
施策	15	廃棄物の適正な処理			
2 事業の根拠・性格			法定受託事務	○	
法律・政令・省令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
県条例・規則・要綱等					
市条例・規則・要綱等	一部事務組合格約				
その他(計画、覚書等)					

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	構成団体（土佐市・高知市（旧春野町）・いの町（旧伊野町）・日高村）住民			
意図	どのような状態にしていくのか	構成団体で発生する一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の安定処理を図る。			
手段	事業実施体制等	構成団体で一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の共同処理を行う。	事業開始年度	平成19年度	
			事業終了年度	平成26年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の処理。組合の運営。施設の維持管理。			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A				
	B				
	C				

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標						
		実績						
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	50,119	51,490	50,893	51,070	春野町との合併後	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	50,119	51,490	50,893		51,070
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	720	1,800	7,400	14,800	平成26年度末の組合脱退に向けての具体的な協議	
		正規職員 (千円)	720	1,800	7,400	14,800		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.10	0.25	1.00	2.00		
		正規職員 (人)	0.10	0.25	1.00	2.00		
		その他 (人)						
総コスト=①+② (千円)	50,839	53,290	58,293	65,870				
市民1人当たりコスト (円)	150	158	172		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)	339,130	337,875	338,397					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

<p>○ 許可業者の収集運搬業務は、適正に行われており、住民からの苦情は無い。</p> <p>○ 構成団体から排出される一般廃棄物（し尿・合併浄化槽汚泥）は、適正に処理されている。また、処理施設は安定して運転されている。</p> <p>○ 有料配布されている有機質肥料（コンポストによどがわ）は希望者が多く数ヶ月待ちの状況である。</p>
---

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は平成20年1月に春野町と高知市の合併において、し尿及び浄化槽汚泥の処理については一市二制度で行うこととなり、平成26年度末に組合を脱退するまで実施されるもので、春野地域には必要な事業である。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	春野町から搬出されるし尿・浄化槽汚泥は滞りなく適切に処理されており、問題はない。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	仁淀川下流衛生事務組合は、4市町村の構成で運営されており、高知市単独での判断はできない。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	昭和39年に土佐市・旧春野町・旧伊野町・日高村の4市町村で組合を設立。各市町村から選出された議会（議員）、執行部協議会（市町村長）、幹事会（担当課長）で事業を運営している。運営にかかる費用は構成市町村で分担（均等割・人口割・従量割）して負担している。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	20.0	総合評価	<p>○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)</p> <p>B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)</p> <p>C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)</p> <p>D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)</p>		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	所属長の評価と同じ。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--